

森林公園の平成24年度管理状況

施設所管課	観光交流局交流政策課
指定管理者	森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループ 代表者 一般社団法人森林公園地域振興会 代表理事 坂本 守
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経営理念、行動指針」を策定し職員の意識向上をさせているほか、接遇研修を職員全員に実施 ・毎年、園内案内板の新設及び補修を実施 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを実施（204件） ・HPでメールによる意見、問合せを受付しニーズ等を把握 ・苦情対応マニュアルを策定し対応している <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションセンター内でBGM放送を開始し、安らぎ空間を演出（新規） ・インフォメーションセンターに公衆無線LANを導入（新規） ・利用者へ双眼鏡やクマ避け鈴を無料貸出し ・雨天時にブルーシートを貸出し
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験教室等のイベントの開催（28回、参加人数1,194人）（※新規に紅葉のライトアップ） ・平成25年3月、森林セラピー基地に認定（※県内初、平成24年1月申請） <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の遠足等の企画時期に合わせ森林公園の資料を配付（1,189校 富山、福井県へも発送） ・新聞社、テレビ、タウン誌、季刊誌等への情報提供 ・イベント案内掲示を公民館など地元市町施設や町内ショッピングセンター等に依頼 ・プレミアムパスポート事業に参加（フィールドアスレチック） ・ボランティアによる花木の植栽511本のほか、公園独自にモミジ167本を植栽し、名所作りに取り組んでいる ・森林公園マスコットの焼印を押した木製コースターを制作し、イベント参加者等に配布した。（新規） <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元商工会、農協、津幡町、エコグループで組織した「森林公園活性化津幡町連携協議会」により、地元特産の「マコモ」をテーマとしたイベントを開催 ・三国山園地周辺の住民と連携しグランドゴルフや祭りを開催 ・地元ボランティア団体と連携し展示ギャラリーに展示

	<p>(11回、延259日、観覧者28,644人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元ボランティア団体と連携し、環境美化の活動を実施(3団体 30人)
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用許可の件数(2)②参照) ・使用料の収入実績(3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型施設、トイレ、広場は常時実施 ・道路(遊歩道) 路面清掃を3・4・11月に実施 ・草刈り 6～9月の間実施 <p>各広場林道管理(各専門業者へ委託)</p> <p>保守点検(各専門業者への委託)</p> <p>警備(夜間警備を専門業者への委託)</p> <p>小規模修繕</p> <p>建物等 学習展示館屋根補修 他6件 浄化槽 動物園汚水処理槽漏水修理 他1件 動物園 シカ園フェンス基礎補修 他4件 水道施設 松葉台広場手洗い場漏水修理 他2件 林道補修 林道加茂線法面補修 他1件 歩道補修 ワラビの道木橋床等補修 他6件 トイレ補修 三国山キャンプ場 他3件 アスレチック 安全策ロープ交換 他5件 その他補修 計7件 園内案内看板、標識新設と補修 新設9基、補修7基</p>
(その他知事が必要と認める業務)	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害時における森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループ対応マニュアル」を策定し、職員へ周知 ・津幡消防署指導によるAED講習を受講(5人) ・安全衛生委員会の開催、労災防止研修会の開催 <p>個人情報の管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「森林公園管理受託業務共同企業体個人情報保護規程」に基づき管理 <p>管理技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林インストラクター資格を取得(2→3人) ・自然体験活動(CONE)指導者資格取得(0→3人) ・樹木・草花研修を独自に実施(受講27人) <p>環境保全への取組み</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「いしかわ事業者版環境ISO」に参加 ・「石川の森林整備活動CO2吸収量認定制度」の認証 ・「いしかわ版里山づくりISO」の認証 ・「企業の森づくり推進事業」に賛同し、企業が行なう森づくり活動に積極的に関わった。（計11件） ・林野庁と国土緑化推進機構が展開している「フォレストサポーターズ」に登録 ・動物のフンからの堆肥及び落ち葉からの腐葉土を製造し、園内で使用し、また、希望する県民等に配布した。 ・樹木を手入れする際に、枝条を積み上げエコスタックとした。 ・新たに、特定外来種であるオオキンケイギクの駆除に努めた。
--	--

（２）施設の利用状況

①利用指標

指標	H23年度 (参考)	H24年度	前年度 比	増減理由
入園者数（人）	170,632	178,938	105%	雪どけが早く、春の入園者が増加した。

②使用許可等の状況

施設名	許可件数	不許可件数	不許可理由
インフォメーションセンター 学習ホール	82	0	
運動広場	29	0	
トンカチ館	16	0	

（３）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額(円)	減免額(円)	減免理由
インフォメーションセンター 学習ホール	109,540	220,400	57件：教育（学校）行事等に利用
ボート乗り場	559,500		
炊飯広場	702,000		
フィールドアスレチック	607,950	46,600	プレミアムパスポート提示者
テニスコート	116,900		
コインロッカー	7,700		
ログハウス	4,374,320		
オートサイト	300,730		
テントサイト	80,520		
バーベキュー舎	140,400		

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	113,600	人件費	83,411
利用料収入	7,000	光熱水費	8,964
その他収入	1,256	施設等管理費	16,826
		租税公課	4,537
		その他	7,598
合計	121,856	合計	121,336
収支差額	520		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果（平成24年4月～平成25年3月実施 有効回答数204件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	68.2%	26.7%	3.6%	1.5%
施設の維持管理	55.3%	39.5%	3.1%	2.1%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成23年4月 ～平成24年3月	歩道沿いにベンチを設置して欲しい 森林動物園が臭い 園内施設の場所がわかりにくい	ベンチを20基歩道沿いに新設した 高圧洗浄機を使用し清掃を徹底した 案内板、標識の新設と補修（16箇所）

②事故、故障等

年月	内容	対応
平成24年6月	林道で乗用車がガードケーブル支柱及びアスカーブを損傷させた	原因者において復旧した
平成23年9月	乗用車が林道のガードケーブル及び支柱を損傷させた	原因者において復旧した

③その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・従来からの「いしかわ事業者版環境ISO登録」、「石川の森林整備活動CO2吸収量認証制度」及び「いしかわ版里山づくりISO認証」に加え、石川県初の「森林セラピー基地」の認定や森林インストラクター資格者の増など利用促進につながる取組みをしている。 ・ベンチを新設し、自主的なイベントを充実させ、積極的な広報活動を行っており、また、地元との連携により交流が活発に行なわれ、利用者数が増加している。 ・BGMの導入や無線LANの提供など、サービス向上に努め、アンケート調査結果も良好である。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃、林道、広場の除草等は適期に行われているほか、専門業者へ保守点検を委託するなど適切な維持管理と修繕に努めており、アンケート結果も良好であるが、雑草の成長が旺盛な時期は、遊歩道の歩行に支障をきたすことがある。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の管理技術向上のため樹木・草花研修の自主的な実施や自然体験活動指導者資格の取得、AED講習受講、安全衛生委員会、労働災害防止研修会の開催など積極的に行ない安全管理技術の向上に努めている。 ・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを充実させ、接遇や管理技術、安全管理などに技術の向上に対する前向きな取組みが評価できる。また、森林公園の自然を活かし、森林環境や生態系の保全などイベントを通して紹介するなど保育園児から高齢者まで広く地域の住民に親しまれる運営がなされている。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし